

会議結果報告書

令和4年10月11日

会議の名称	令和4年度第3回志木市健康づくり市民推進協議会
開催日時	令和4年9月29日（木）午後1時30分～3時00分
開催場所	志木市役所3階 大会議室3-3
出席委員	山下和彦会長、中村勝義副会長、鎌田昌和委員、宮本日出委員、田中節子委員、宮原賢子委員、宮下博委員、荒野壽子委員、星野賢委員、細沼明男委員、妙智豊子委員、細川年幸委員、武村久仁子委員、増田康太委員、西和江委員、藤恵子委員、松永みどり委員、飯田順一委員 (計 18人)
欠席委員	山本眞由美委員、隅田由香利委員、大熊啓太委員 (計 3人)
説明員氏名	安形喜代美（健康政策課）、山田美穂（健康増進センター） (計 2人)
議題	(1) アンケート調査の実施概要について (2) いろは健康21プラン（第5期）、食育推進計画（第3期）、歯と口腔の健康プラン（第3期）策定に向けたアンケート調査の内容について (3) 市民のこころと命を守るほっとプラン〈自殺対策計画〉（第2期）策定に向けたアンケート調査の内容について (4) その他
結果	別紙、審議内容の記録のとおり (傍聴者 0人)
事務局職員	大熊克之（子ども・健康部長）、清水裕子（健康政策課参事兼課長） 安形喜代美（健康政策課主幹）、伴恭臣（健康政策課主査）、 大野広幸（健康増進センター所長）、杉田明子（健康増進センター副所長）、山田美穂（健康増進センター主査）、熱田美乃里（健康増進センター主事）

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) アンケート調査の実施概要容について

事務局より説明を行った。

(2) いろは健康21プラン（第5期）、食育推進計画（第3期）、歯と口腔の健康プラン（第3期）策定に向けたアンケート調査の内容について

事務局より説明を行った。

会 長：一般市民向け調査、中高校生向け調査、小学生の保護者向け調査、乳幼児の保護者向け調査すべてで、「自覚的健康観」「幸福度」「健康知識」「第三の居場所」を把握している点が今回の調査の特徴である。さらに中高生向け調査では、「からだや性について」「スマートフォンやタブレット等の利用ルール」を把握している点も特徴的である。その他、小学生の保護者向け調査では小学生本人に回答させている点、乳幼児の保護者向け調査では野菜の量の選択肢を変更した点など、委員のみなさんや私の指摘を踏まえて修正している箇所がある。何かご質問はあるか。

委 員：この調査票はよくできていると思う。私はどれだけ多くの方にかかりつけ医やかかりつけ薬局を持っていただけるのかということに関心がある。かかりつけ薬局を持っている人の割合を高めればポリファーマシーも防げるので進めていきたい。各市では防災フェアや健康まつりなどを開催し、様々な方法でつながりをつくり、かかりつけ医やかかりつけ薬局を普及させている。かかりつけ薬局を社会資源として活用していただけると良い。薬剤師会でも、ゲートキーパーや認知症サポーターの研修を受けて、薬を処方するだけではないところまで対応できるよう取り組んでいる。とても良いアンケート調査なので、結果を楽しみにしている。

委 員：乳幼児の保護者向け調査は、子どもと保護者双方の状況を尋ねているので、その結果が楽しみである。

委 員：結果を踏まえて実態を確認したいと考えている。受動喫煙が与える影

響についての設問の選択項目に歯周病がないのは発信が足らなかったかもしれない。今後、発信を強化していきたい。

事務局：調査票の文言は変更できないが、計画策定の過程で発信していきたい。

委員：内容は十分なため、回収率を高めていくことが重要と考える。前回は年代によってばらつきがあったため、その点が改善されると良いのではないか。

委員：野菜の摂取量について、成人と同様の選択項目になっているが良いのか。

委員：小学生の野菜摂取量の目安がおよそ 300g となっていて、意外に多い印象を受ける。

委員：いろは健康 21 プラン推進事業実行委員会では、ご年配の方までの足腰のサポート、QR コードの読み込み方法等の勉強会なども開催している。フレイル予防も一つの勉強会の素材として考えたい。ここ 2 年間、ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会は開催できていなかったが、本年度は 3 月 25 日に開催予定である。新庁舎も完成したので、全国の参加者に庁舎のお披露目も含め、開催できればと考えている。

委員：小学生の保護者向け調査と中高生向け調査について、居場所の設問の選択肢に「マンションのエントランス」とある。できれば、こちらは騒音発生によるトラブルの問題もあるため、削除していただきたい。幅広い設問を尋ねているので、集計結果が興味深い一方で、私たちが活用しきれぬのか心配である。委託事業者の方々にご尽力いただきたい。最後に、本日の配付資料について、対象を右上に明記していただけるとわかりやすかった。次回からは直していただきたい。

事務局：次回からは資料番号がわかりやすいように留意する。

(3) 市民のこころと命を守るほっとプラン（自殺対策計画）（第 2 期）策定に向けたアンケート調査の内容について

事務局より説明を行った。

会長：こちらのアンケート調査では、「第三の居場所」「WHO の健康の定義」「大切にしたい時間」「自己効力感」「自殺念慮・自殺未遂経験」などが特徴的な設問である。

委員：中高生向け調査について、最後のページに記載のある URL にアクセスすると、健康増進センターの相談会の案内にとぶようになっている。わらにもすすがる思いで見た子どもが突き放されているように感じるの

ではないか。だからこそ、リンクを充実しても良かったのではないかと考える。また、宗岡地区の子どもが幸町地区の場所に案内されていることになるが、地域ごとにリンク先を充実させることが重要ではないか。また、身近に相談窓口があると、回答してくれる子どもが増えるのではないか。小学生保護者向け調査のQRコードはいつ読み込むことになるのか。

事務局：学校経由で配付する場合は持ち帰っていただくので、ご自宅でQRコードを読み込むことになる想定である。

(4) その他

事務局：今後、健康づくりに関係する団体へヒアリング調査を実施する予定である。健康づくり市民推進協議会の皆さまには協力をお願いしたいと考えているので、実施の際は改めて相談させていただく。

4 閉会

事務局：次回の会議は来年1月26日（木）13:30～を予定している。